

授業科目	統計学	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	統計学的手法を学び、数量的に表現する能力及び数量的に示された状態を把握する能力を養う。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員(講師)			
1	統計とは	様々な研究で使われる統計を紹介し、統計を学ぶ意義を説明する			講義	非常勤講師			
2	尺度水準	統計作業の3段階を紹介し、データの4つの水準について説明する			講義				
3	データの図表化	得られたデータを図や表を用いてまとめ方を説明する							
4	標準化・標準偏差・数値要約	得られたデータをどのように数値をまとめて要約するのかを説明し、算出する			演習				
5	統計用語確認	記述統計に関する用語を整理する			演習				
6	統計ソフトの使い方	統計ソフト (SPSSおよびR) の基本的な使い方を説明する			演習				
7	推測統計の導入	推測統計の考え方 (帰無仮説, 対立仮説) を説明する			講義				
8	カイ二乗検定	質的変数と質的変数の関係性を検討するためのカイ二乗検定を行う			演習				
9	カイ二乗検定 (残差分析)	カイ二乗検定を拡張した残差分析を行う			演習				
10	対応なしのt検定	質的変数と量的変数の関係性を検討するためのt検定 (対応なし) を行う			演習				
11	対応ありのt検定	質的変数と量的変数の関係性を検討するためのt検定 (対応あり) を行う			演習				
12	相関係数	量的変数と量的変数の関係性を示す指標である相関係数について説明する			講義				
13	無相関検定	量的変数と量的変数の関係性を検討するための無相関検定を行う			演習				
14	推測統計確認	推測統計 (カイ二乗検定, t検定, 無相関検定) を整理する			演習				
15	定期試験 (90分)	筆記および実技による試験							

授業科目	法学	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	法の理念、憲法の基本原理を学び、法に守られた中での人々の生活を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法		担当教員(講師)		
1	法の理念	法の概念① 法と道徳			講義 演習		非常勤講師		
2		法の概念② 法の種類			講義 演習				
3		法と裁判			講義 演習				
4	社会生活と法律	刑事責任			講義 演習				
5		民事責任			講義 演習				
6		家族法・労働法・その他の法			講義 演習				
7		看護の基本法と関係法規			講義 演習				
8	定期試験 (60分)								

授業科目	外国語会話	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	通年
科目目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、身近な話題について会話する能力を養う。医療現場で患者と看護師とでよく交わされる会話を英語で学ぶ。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員(講師)			
1	Welcoming a Patient	患者と迎える			講義	非常勤講師			
2	Taking Vital Signs	バイタルサイン測定			講義				
3	Pain Assessment	痛みのアセスメント			講義				
4	Feeling So Sick!	症状			講義				
5	Transferring a Patient	体位変換・移乗			講義				
6	Medical Departments	医療科目			講義				
7	Personal Care	日常生活援助			講義				
8	Giving Medication to a Patient	与薬			講義				
9	Emination	排泄			講義				
10	Chronic Diseases	慢性疾患			講義				
11	実技予行演習	各グループ選択項目予行発表(1)			講義				
12	実技予行演習	各グループ選択項目予行発表(2)			講義				
13	実技評価	学生による各グループ実技評価			講義				
14	作品評価	学生による各グループ実技作品評価			講義				
15	定期試験(90分)								

授業科目	関係法規	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	医療や看護に携わる人の身分や業務に関する法令を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員(講師)			
1	法の概念	法の概念 法の分類 衛生法 厚生行政のしくみ			講義	非常勤講師			
2	医療や社会福祉関連職に関する法	医事法			講義				
3		保健衛生法 薬務法							
4		環境衛生法 社会保険法			講義				
5		福祉法 労務法 環境法			講義				
6		看護職に関する法	保健師助産師看護師法（定義、業務、義務、養成制度）			講義	本校教員		
7	看護師等の人材確保の促進に関する法律（基本方針、ナースセンター）			講義					
8	定期試験（60分）					非常勤講師 本校教員			

授業科目	保健医療論	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	現代の保健・医療の現状を知り、医療専門職として社会に対する責任を学ぶ。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員(講師)		
1	現代の保健・医療	保健医療システム 専門職 医療の現状・課題				演習	本校教員		
2	医療の歩み	わが国の医療の歩み 医療観の移り変り これからの医療と医療観				講義	非常勤講師		
3									
4									
5	現代医療の課題	現在の医療の問題点や課題を明らかにし対策を考える。 ・少子高齢化 ・地域看護 ・働き方 ・環境からの健康障害 ・患者の尊厳 ・最先端医療 ・医療事故 ・医療費 など				PBL グループワーク	本校教員		
6									
7									
8									

授業科目	看護政策論	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	15	開講	前期			
科目目標	医療・看護をとりまく制度や政策がどのように決定され、臨床の現場でどのような影響を及ぼしているかを知り、看護実践における制度上の問題の現状と課題を理解する。											
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員(講師)					
1	看護政策の理念、目的	質の高い看護の提供 選挙について				講義	非常勤講師					
2		看護政策とは 政策過程と政策の立案				講義						
3	医療施策と看護政策	医療を取り巻く環境の変化 人口減少時代 医療政策				講義						
4		医療法の改正 看護職確保の施策 医療機能分化の政策				講義						
5	看護制度と政策の成立プロセス	看護制度とは ・保健医療制度の中の看護制度 ・看護教育制度				講義						
6		看護教育に関する政策 保健師助産師看護師法の改正と課題				講義						
7	現状の課題と展望	診療報酬とは 看護政策の今後と課題				講義						
8	定期試験 (60分)											

授業科目	看護管理と研究	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	患者の質の高い看護ケアの提供のための、看護管理と看護研究の基礎的知識を習得する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員(講師)			
1	看護管理とは	(1)管理のサイクル (PDCAサイクル) (2)看護部門の組織と職務 (3)看護管理部門の役割			講義	非常勤講師			
2	看護部の管理	(1)人事管理 (2)業務管理 (3)職員教育			講義	本校教員			
3									
4	各看護単位での管理	病棟における管理			講義				
5	スタッフに求められる管理的役割	リーダーシップとマネジメント			講義				
6	研究とは	(1)看護における研究 (2)研究のプロセス (3)研究における倫理			講義				
7	文献検索	(1)文献とは (2)文献検索の方法 (3)医中誌Webを用いた文献検索 (4)最新看護索引Webを用いた文献検索			講義 演習	本校教員			
8	研究デザイン	(1)量的研究 (2)質的研究			講義				
9	研究をクリティークする	(1)研究論文をクリティークするとは (2)量的研究をクリティークする (3)質的研究をクリティークする			講義 演習				
10	論文のまとめ方	(1)論文の構成と書き方 (2)学会別の投稿論文規定 (3)引用文献と参考文献 (4)ケーススタディ論文執筆要領			講義				
11									
12	ケーススタディ論文の作成	ケーススタディ論文の作成 (1)研究計画書の作成 (2)ケーススタディ抄録と論文の作成 (3)プレゼンテーション			講義 演習	本校教員			
13									
14									
15	定期試験(90分)					非常勤講師 本校教員			

授業科目	臨床看護技術Ⅱ	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標		対象の症状や状態に合わせた援助を実践できる能力を身につける 状態の変化に対し必要な処置を判断し実践できる能力を身につける 多重課題から優先順位を決定し看護を実践できる能力を身につける							
回	主題	授業内容	授業方法	担当教員(講師)					
1	臨床推論と臨床判断	1) 臨床推論と臨床判断とは 2) 臨床判断に基づく看護実践 までの流れ	講義	本校教員					
2	患者の変化に基づく臨床 判断と看護の実践①	事例による看護実践の展開 1) 消化器症状のある患者の観察 2) フィジカルアセスメント 3) 臨床推論と臨床判断 4) 実践 (ロールプレイ)	演習 (シミュ レーター)	本校教員					
3		呼吸器障害のある患者の展開 1) 呼吸器障害のある患者の観察 2) フィジカルアセスメント 3) 臨床判断 4) 実践	演習						
4									
5									
6									
7		循環器障害のある患者の展開 1) 循環器障害のある患者の観察 2) フィジカルアセスメント 3) 臨床判断 4) 実践	演習						
8									
9									
10									
11		脳血管障害のある患者の展開 1) 脳血管障害のある患者の観察 2) フィジカルアセスメント 3) 臨床判断 4) 実践	演習						
12									
13									
14									
15	患者の変化に基づく臨床 判断と看護の実践②	複数患者の「疾患」「症状」「治療」 「処置」を関連づけて状況を判断し、必 要な臨床看護技術の実践  1) 診療の補助技術 ①急変時の対応、輸液管理、与薬、 静脈内採血、血糖測定、酸素吸入 吸引など 2) 医療機器使用時の日常生活援助 ①輸液療法中の対象の清潔、寝衣交 換、寝具交換、移動など	校内実習	本校教員					